

令和3年度 第3回まちづくり総合委員会 議事要旨

日時：令和4年2月18日（金）10時00分～

場所：北広島町まちづくりセンター

きたひろホール

出席者

委員	三浦委員長・小笠原副委員長・砂原委員・長田委員・織田委員・加計委員・荒川委員・宇川委員・友田委員・板倉委員・藤田委員
事務局	財政政策課 植田課長・高野係長・和泉・山岡
委託事業者	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 井原

1. 開会

2. 開会あいさつ（委員長がオンライン出席のため、職務を代理して副委員長が議事を進行）

3. 議事

議事1	(1) パブリックコメントの結果について
内容	<p>資料1 「第2次北広島町長期総合計画【後期基本計画】（素案）パブリックコメントの結果について（案）」により事務局から説明を行う。</p> <p>(副委員長) 12番の再生エネルギーの取組について、浜田市の風力発電など、八幡地区と島根県沿いに風力発電が建つ計画があり、規模が大きく距離も近くなるため、地区として反対をしているが、町としては地元が理解しているような書きぶりであったので、違和感があった。風力発電に限らず、地区としてどうしていくのか考えていく必要があるものだ。</p> <p>(事務局) 美しい環境を保全する意識と重要性については町民の理解が至っているという意味で記述している。風力発電の建設等については、全てが賛成ということではない。騒音や景観の問題などについて地元の理解を得られてからということになる。ここは区別した記述だと考えてほしい。</p> <p>(委員) 先ほど資料8P、パブリックコメントはNo.2になるが、コロナ感染者数の町データ追記について事務局から確認があったが、1月になってこれだけ情勢が変わってきており、オミクロンの変異株も出てきて今からどうなるか本当に分からない状況であると思う。1、2月のデータを入れて、さらに直近の情勢を見て文言を書いたほうがよいのではないかと思う。</p> <p>(副委員長) コロナの感染者数が非常に増加している。少しでも新しいデータを入れたほうが良いというご意見である。</p> <p>(事務局) データを含め、町をとりまくコロナの状況について具体的にはこれからとなるが、少し詳しい記述をさせていただけたらと考えている。ご意見をお願いしたい。</p> <p>(委員) よろしく願います。</p> <p>(副委員長) 個人的な考えであり、今日の議論とは違うかも分からないが、コ</p>

		<p>ロナ感染も 10 人とか 6 人とか北広島町の中でどのようにして人数が増えているのか、例えば 1 か所でクラスターが発生しているのか、各地区まんべんなく出ているのか、そういう情報が入ってこない。そういう情報の発信も必要ではないだろうか。</p> <p>(委員長) 新型コロナウイルス感染に関してデータを最新のものにすることは必要であるが、今回の計画全体を考えると今後社会情勢の変化がどう起こるか予測が付かないところがあって、それに対して今取り組もうとしている内容をいかに柔軟に対応していくことを最初のところに触れておくことは大事かと思う。今後何が起きるか分からないということを踏まえて、今回計画を作ったけれども、情勢に応じて、より良いものにどんどん変えていく姿勢を持つことが必要だと考える。</p> <p>(事務局) 毎年度の事業評価をする中において、状況に応じた柔軟な対応を含め、各事業の方向性について議論していただけるものと考えている。</p> <p>(委員長) 資料 2、総合計画の素案 4P 目に、「3. 計画策定に重視する主な視点」がある中に、「(1) 時代の変化に対応する柔軟な計画づくり」で、「時代の潮流に合わせ、施策の優先性、重要度を重視しながら、柔軟に対応することができる計画づくりをめざします。」と書いている。ここはあくまでも計画の策定においてこういったことを重視したが、計画の実行をする中においてもこういった柔軟な対応をしていかなければならない。かつ、ここで書いているのは「時代の潮流」ということであるから、どちらかという大きな流れに合わせるわけである。新型コロナウイルスでは時代の潮流ということではなく、外的要因が来た時に対応できるスタンスが重要になるので、そういった意識をしていることを記述することが大事かと思う。39P や 40P あたりに触れられたらよいのではないか。</p> <p>(事務局) 実行する点においての柔軟な姿勢を入れられるように、考えさせていただく。補足として、軽微な修正が必要な部分は事務局と委員長の管理のもとでの対応をご了承いただけるのであれば、そちらを最終案として対応していきたいと思う。</p> <p>(副委員長) 軽微な修正等に関しては事務局にまかせるということでよいか。 (異議なし)</p> <p>(副委員長) 本日出されたご意見を踏まえて、速やかに公表してほしい。</p>
議事 2		<p>(2) 第 2 次北広島町長期総合計画（後期基本計画）（素案）について</p> <p>内容 資料 2「第 2 次北広島町長期総合計画（後期基本計画）（素案）」、資料 3「後期基本計画各施策に関連する SDGs 目標・ターゲットの対応表（案）」、資料 4「第 2 回会議資料からの主な変更点」により、事務局から説明を行う。</p>

(副委員長) たくさん資料の提示があったが、ご意見はあるか。

(委員) 軽微な修正が必要なところ、本編で19Pのグラフで全体の右側で医療機関や福祉施設の文字が飛んでいる。12Pの下の北広島町の観光客数のところで、一人当たりの観光消費額が1,153円と記載があるが、下のグラフには入っていないので、何の数字なのかと思った。50P、51Pの商工業の振興というところで、成果指標として、「町内の商店数(減少の歯止め)」として、基準185店舗が目標160店舗と置いてあるが、これで唐突に160店舗に歯止めとされており、歯止めになっているのか分からない。人口の推移のように、これまでの経緯があれば腹落ちしやすいと思う。そもそもこの目標の出し方自体が、それぞれ中で議論され、指標として置かれていると思うが、出し方も含めて簡単な説明があれば理解も深まるのかと思う。

(事務局) 19Pの文字が切れているところは修正する。12Pの観光消費額も確認して注釈を入れられるようにする。50Pの指標については各課と確認する。

(委員) いろいろなことが書かれているが、町としては同時並行で進めているのか、それとも優先順位で進めていく計画なのだろうか。

(事務局) この長期総合計画については町全体の取組として包括的に行っている。また、毎年予算計上の段階で、予算によって強弱はあるが、取組をまとめている。

(委員) どうしても運用のほうを思ってしまうが、町民全体にダイジェスト版に告知すると説明があった。また、前回の意見の中でどこの課に問い合わせるべきかという話があったことについては町として財政政策課に1本化することであった。以前の委員会で、各課が実施事業シートを作られているということで、担当の課の方がおらず、なかなか話が聞けなかったので進捗がわからないところがあった。実際どのような形で進捗しているのかという質問がかなりあったと思う。表側が町民の方から協働という中で、問い合わせる先も集中させるということであって、そこから先、運用が実際にどれくらい進捗しておったかということが、もう少し具体的に落とし込めた方が、前期のことを含んでこれを見直していこうということでもあり、実際にできたか、できなかったか、わかりやすく有益になるのではないか。運用ももう少しどうなのかと思うところがあるがどうか。

(事務局) 毎年、第1回の委員会で各課の事業の進捗状況をお諮りしている。会議の持ち方として、財政政策課が会議資料としてとりまとめ、事前配布している。事前質問を受ければ、これを各課へ状況確認等の照会をしたうえでお応えし、委員会でお応えしきれないところは後日の情報提供をしている。特別な事業などは担当課から説明させてもらうが、通常では財政政策課でのとりまとめ資料を通じてお伝えする。

(委員) こういう質問が出たのは前回は初めてではないと思う。繰り返して同

じ質問がこないように、事前に資料を送られた中で、事前に質問をしっかりと受けられる形で運用していただきたい。

(委員) 用語解説があって読みやすくなったと思う。60P 成果指標のところ「運動能力」の点数があるが、学校関係者はどういった中身なのかがわかるのだが、一般的には点数が何を示しているのかが読み解きにくいと思うので、資料編のところには指標数値の解説を少し加えていただけるとわかりやすくなると思う。62P に、トムソーヤスピリッツとあるのは、ある1つの事業として特有の言葉なので体験活動などの大きな言葉に入れ替えてはどうか。

(事務局) 60Pの成果指標については分かりやすくなるように、ご意見のとおり注釈を入れて補足していきたい。62Pのトムソーヤスピリッツは、「体験活動」という言葉に入れ替えることでよければ、そのように進めたい。

(委員) SDGsのアイコンを入れているが、まだまだバランスであるので反対に誤解を受ける可能性もある。たとえば50P、51Pの商工業の一例を出せば、代表的な「8番の働きがい」とか「9番の技術革新」がある。中小企業であるが、我々の企業でも実際いろいろやっている。国としてはパートナーシップなど連携が入ってくる。上からいけばジェンダー平等とか、とにかく質の高い教育、社員を作る責任でとか気候変動、パートナーシップ、全てが関連してくる。みんな重要になる。かえてこれを厳密にしていくと、勘違いされるのではないかと思う。SDGsを推進するということはキチンとしておいて、細かくアイコンまで入れる必要はないのではないかと感じたが、代表的なものをやっていますとして、説明できればそれでいいのかもしれない。

(事務局) 職員研修でも受けているが、人によって受け方が違うので正解はないとのことであり、理解をしている。SDGsという大きな流れの中で、町としても取り組んでいる。これだけではないという意味で表現を入れさせていただき、周知をしていきたいと思う。

(委員) よい計画が出来ているが、いかに人口減を食い止めるかが大事だと思うが、実際には食い止められていない。定住促進、企業誘致などの政策が取り組まれていないと感じるし、もっと力を入れて人口減少を食い止めなければ町がなくなってしまう。具体的にそういった政策を打ち出し、事あるごとに実行していけるようにまとめていってほしい。計画通りにっていないのが実情だと思うので、結果を発表してもらえないといけない。どうにかしてほしい。

(事務局) 人口ビジョンをみると国勢調査の結果で社人研の推計に対して令和2年度で下がってしまった。社人研に対して人口は保っているが、人口が減らない取組は必要。人口増のためにこれをやったらこれだけ伸びるということが難しく、いろんな方面から取り組んでいる。企業誘致であれば、令和4年度にサテライトオフィスを建設する。これらをきっかけに本町での進出を考えてほしいし、空き家対策や出生率改善、勤務者も多いポイントを活用するなど、多

		<p>方面からの施策が必要なので、これまでのことを継続しながらも、各施策を進めていきたいと思う。</p> <p>(副委員長) このあと、製本され町民に配布された後、その後のチェックというのはどうなるのか。この委員会でチェックをするのか。</p> <p>(事務局) 毎年度、まちづくり総合委員会を開催し、各事業の指標を一覧として委員のみなさまに意見をいただきながら事業評価をしている。委員の任期にもよるが、6～7月あたりに評価をしていただくことになると思う。</p> <p>(副委員長) 作るのは良いが、どう実行していくのかの方が大切である。</p> <p>(委員) パブリックコメントの黒字に統一したところだったが、フォントを太くして字がつぶれているところがあるので、見やすくなるように配慮してほしい。</p> <p>(副委員長) 黄色は読みにくいので配慮してほしい。</p> <p>(事務局) 製本版としては調整していく。</p> <p>(委員長) PDFのファイルを見ると白抜き太字でかいてあるところは読みにくいので、縁取りをするなど考えてほしい。</p> <p>(事務局) いろいろな世代の方がみられる計画でもあるので、色合い、体裁等、検討する。</p>
議事3		<p>(3) 答申(案)について</p> <p>内容 資料5「第2次北広島町長期総合計画について(答申)(案)」により、事務局から説明を行う。</p> <p>(異議なし)</p>
		<p>(4) その他</p> <p>今後の流れについて、事務局から説明を行う。</p> <p>(副委員長) この会がこのメンバーでは最後となるようなので、一言ずついただきたい。</p> <p>(委員) 商工会の会長も自分の事業も承継できた。これからどう余生を楽しんでいくかと考えている。元気にまた皆さんの顔を見せていただけたらと思う。</p> <p>(委員) ここまで議論していいものがあったと思うが、コロナで世の中が一新しており、国がどの方向に進んでおるから北広島がこの方向に進んでいるというのが無いとインパクトが無いと感じた。デジタル田園国家構想など現在急速に進めているところ、施策の目玉として何か付け加えたほうがいいのではないかと聞かせてもらった。</p> <p>(委員) これからは施策や情報として本計画のダイジェスト版等が町民に出ていくものもあるので、職場で意識して活動するなど、協働の取組の中で活動し、職場でも地域の住民としても関わっていきたい。</p> <p>(委員) 金融機関でのビジネスの観点からの計画の立て方、執行の仕方などルールが違う部分もあるので戸惑いながらというところであった。時代が変わっ</p>

	<p>ていって、人々の価値観が多様化していく中で、従前の考え方を踏襲していくということだけでは新しい未来は開けないと感じた。</p> <p>(委員) 人口の歯止めや活性化に対して金融機関という立場で役立っていきたいと思っている。</p> <p>(委員) 意見をいう立場でもあり、目標を達成する立場でもある。コロナの影響でいろんな状況が変わってきている。それらを踏まえながら進めていかないといけない。ICTを取り巻く環境も変わっている、現在、子ども達には一人一台のタブレットがあり、これを使って授業をしている。今朝の生徒朝会においても、教室ごとにオンラインでつないで開催したが、子ども達の環境がこの一年で大きく変わってきた。そういった子ども達が育ってくるということを踏まえたまちづくりをしていけたらいいと思う。</p> <p>(委員) 自分が住んでいるところが限界集落という感じだが、自分がやらないといけないと、地域で危機感をもって考えていきたい。立派な計画ができたが、どう進捗管理をしていくのが町民として気になる。評価の前の進捗管理が大事だと感じた。住んでよかった、帰っておいで、と言える町にしていきたい。</p> <p>(委員) 先日、地域協議会の有志で薬師公園の立木の剪定をした。木が鬱蒼と茂っていて見通せなかったが、剪定をして綺麗に見えるようになって、子どもたちが喜んでくれた。本当に良い事だった。公園がほしいというパブコメ意見もあったが、お金もかかるし、行政、協議会、住民が話をして良いものを作っていたらと思う。</p> <p>(委員) 大朝の地域協議会でも人口をどう増やすかという内容になる。一番のところはそこだと思うので、この計画を町の皆さん、たくさんの方に知っていただき、皆さんの意見を聞いて、町づくりをしていけたらと思う。</p> <p>(委員長) オンラインで対応いただいて、ありがとうございます。北広島町の方々は自分たちでまちを作っていくという思いが強いと感じた。パブコメでも委員会の中でも自分事として考えられていると感じた。その思いをうまく使えるようにするには、あたらしい施策展開、情報発信手法を考えていかないといけない。基本計画を推進していくためのページをつくって、集約して見せていくことができれば計画と施策が紐づいていく。HPだけではなく、SNSなども活用して、共にやっていく人を巻き込んでいくことで、より実のあるものになると思う。</p> <p>(副委員長) 皆さんありがとうございました。またいろいろなどころでお会いするとも思いますので、よりよい北広島にしていけたらと思う。</p>
--	---

5. 閉会